



# 小学校だより

2024年  
1学期号  
2024.7.12

Vol.  
156

## 楢ニゴグッズ制作秘話

校長 相川 保敏



▶販売部のみなさん  
六年 田中結衣さん 堀川夕奈さん  
五年 朝見紅心さん 星野凛花さん  
四年 村松愛花さん 関 怜佳さん

いる点も含めて制作にかかわった児童のみなさんに話を伺いました。

Q 楢ニゴグッズはどうしてつくくるようになったのですか？

アフリカのフルキナファンに楢小で使っていた机を送ったことをきっかけとして、交流を続けています。交流する中で記念品をつくらうことになり、楢ニゴちゃんのピンバッジをつくったのが始まりだと聞いています。その後、様々な楢ニゴちゃんグッズをつくり販売して、その収益をフルキナファンに寄付するのうけになりました。

Q 昨年は、どんなものをつくったのですか？  
どんな点が工夫されていますか？

みんなが喜んで使ってもらえるものとして、前期の人たちがクリアファイル、後期の人たちがメモ帳をつくりました。クリアファイルもメモ帳も二種類つくり、色を選

んで使ってもらえるようにしました。また、メモ帳は書きやすいようにラインが入っています。



▲クリアファイル (左:黄 右:水色)



▲メモ帳

Q 今年、運動会の記念品として鉛筆と消しゴムをつくる予定だったと聞いていますが、どうして消しゴムとノートになったのですか？

はじめは鉛筆を配る予定で、デザインも考えていました。しかし、鉛筆の材料が集まらないという理由から鉛筆をあきらめなくてはならなくなりました。びっぴりとした。その代わりに、ノートをつくることになりました。ノートもはじめは色と裏表紙のデザインを変えた二冊を配る予定でしたが、予算の関係で一冊になってしまいました。また新しいデザインを考えなくてはならなくなりました。そのため、運動会には間に合わなくなりました。

Q 急な変更で大変でしたね。苦労したことは他にもありますか？

デザインを考えると、いろいろなアイデアが出てきます。色やデザインを決めていくときに一人一人に考えや好みがあるので決めるのが大変でした。また、初めは二種類で考えて



▲ノート

いたものを一種類にしなくてはならなくなるとき、それぞれの良さをうまく組み合わせていくのがさらに大変でした。その他にも、予算や制作期間も考えていかなくてはならないので難しかったです。



▲販売部のみなさん

Q 楢ニゴグッズはこれからのように配布や販売するのですか？

運動会の記念品のノートと消しゴムはまもなく配布できると思います。消しゴムはデザインの違う二種類です。また、あきらめていた鉛筆も材料が入手できたようですので、販売していけると思います。鉛筆の色は販売部の中でもなかなか決まらず、最終的には代表委員会全員の投票で決めるほど悩みました。楽しみにしてらっしゃいます。

Q これから新しくつくれる楢ニゴグッズはありますか？

新しくハンカチをつくらう予定です。その他にピンバッジ、スタンプも候補に挙がっています。

Q 最後に、全校のみなさんに伝えたいことはありますか？

運動会の記念品は、みんなががんばって運動会に取り組んだ証として配ります。デザインや色を楽しみながら最後まで使い切ってください。また、楢ニゴグッズが生まれた理由も理解して、使ってもらえたらうれしいです。

モノの値段が上がり、楢ニゴグッズの制作にも大きな影響を与えていたことがわかりました。思い通りに進まないこともあったようですが、委員会の活動でも実社会の影響を強く感じながら探究的に課題解決を図っていく取り組みが進められていることがわかりました。

### 特集

## 運動会

P.2  
P.3

### 委員会報告

P.4

### 学期の行事

P.5

### 学年トピックス

P.6  
P.17

### PTA

P.18  
P.19

### 一学期の思い出

P.20